

22052325

**JAPANESE B – STANDARD LEVEL – PAPER 1**  
**JAPONAIS B – NIVEAU MOYEN – ÉPREUVE 1**  
**JAPONÉS B – NIVEL MEDIO – PRUEBA 1**

Monday 16 May 2005 (morning)  
Lundi 16 mai 2005 (matin)  
Lunes 16 de mayo de 2005 (mañana)

1 h 30 m

---

**TEXT BOOKLET – INSTRUCTIONS TO CANDIDATES**

- Do not open this booklet until instructed to do so.
- This booklet contains all of the texts required for Paper 1.
- Answer the questions in the Question and Answer Booklet provided.

**LIVRET DE TEXTES – INSTRUCTIONS DESTINÉES AUX CANDIDATS**

- N'ouvrez pas ce livret avant d'y être autorisé(e).
- Ce livret contient tous les textes nécessaires à l'épreuve 1.
- Répondez à toutes les questions dans le livret de questions et réponses fourni.

**CUADERNO DE TEXTOS – INSTRUCCIONES PARA LOS ALUMNOS**

- No abra este cuaderno hasta que se lo autoricen.
- Este cuaderno contiene todos los textos para la Prueba 1.
- Conteste todas las preguntas en el cuaderno de preguntas y respuestas.

## 第一部

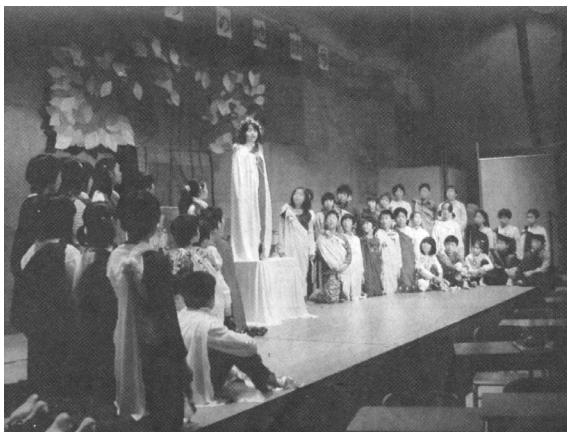
### 問題 A

#### 地球をまもるための活動

##### 「ウォーターキッズ」

東京、徳島、岡山にある3校の生徒達が協力して、水についていろいろ調べました。生徒達が調べた事は、本として出版されました。

生徒達は水道局へ行ってみたり、農家の人にインタビューしたりしました。そしてテレビ会議やメール、ファックスなどで じょうほうを交換して、レポートをまとめたのです。



##### 「かがやけ！ 僕らの地球号！」

石川県の小松市の生徒は、かんきょう問題についての げきをつくりました。タイトルは「かがやけ！ 僕らの地球号！」です。ごみ問題などのテーマをとりあげています。

先月はこのげきを小松市内で発表しました。その時、家庭でできる事を書いた「かんきょうガイドブック」も配りました。

## 問題 B

### 日本食バンザイ！



ジャクリン・バレット (37)

ロンドン生まれ。シェフとしてけいけんをつんでから、ロンドン大学英文科卒業。  
現在ロンドンのげき場につとめている。

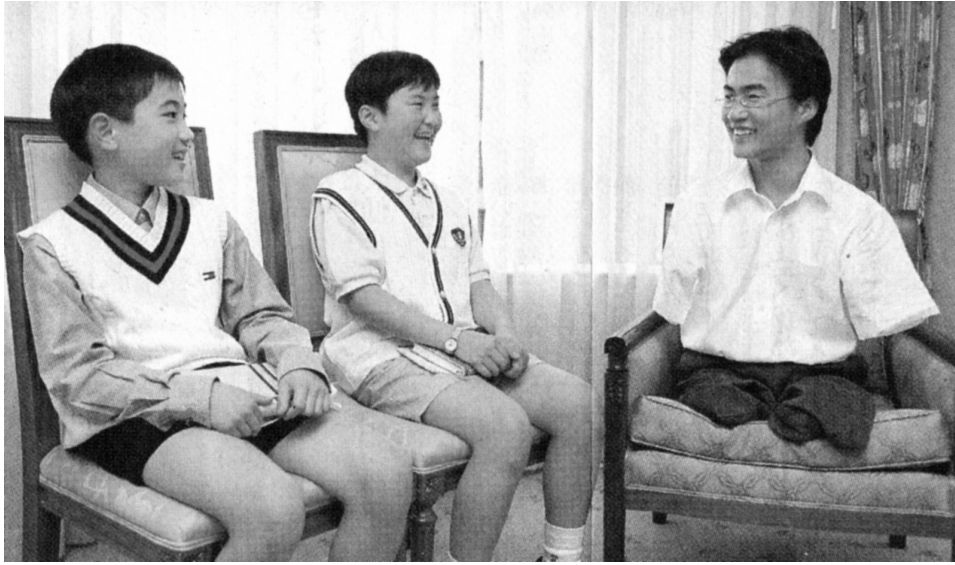
しゅみ：げき、音楽、料理、旅行。

2年前に初めて日本へ行って、広島と京都ですばらしい日本料理をいただきました。広島に住んでいる友人の家で2週間ホームステイをしたのですが、近所の人が「おみやげです」「お客様に」といろいろな物を持ってくるので、おすしや神戸牛、広島名物のおこのみやきなど、いろいろ楽しむことができました。

おいしい物ばかり食べていましたが、おどろいたことに体重はへりました。でも、レストランも高いし、物価も高いと感じました。りんごが一つ4ポンドもしたのにはびっくりしました。

今では、日本食がすっかり好きになって、毎日てりやきやみそしるなどを作ったり、ご飯を食べたりしています。おかげで体調もいいです。日本食バンザイ！

## 問題 C



おとたけ ひろただ  
乙武洋匡さん

『五体不満足』を書いた人、乙武洋匡さん

「僕は毎日が楽しいよ。」乙武さんは、生まれつき両手足が無いのですが、そんなハンデイを感じさせない、明るい人です。乙武さんは今までいろいろな事にチャレンジしてきました。バスケットボール、生徒会活動、パソコン、海外旅行、カメラ……乙武さんが書いた『五体不満足』という本はベストセラーにもなりました。白石さんと山本君がインタビューしました。

「こんにちは。よろしく。」早稲田大学四年生の乙武さんは、大学内の待ち合わせ場所に電動車いすで現われました。

「最近、海外でスキューバ・ダイビングのめんきよをとったそうですね。」と山本君がききました。「大変だったよ。背中のポンベがとても重いんだ。先生の英語も半分ぐらいしか分からない。それでもめんきよをとったんだ。ふかくまでもぐれたし、魚もいっぱいいたし、きれいで楽しかったな。」

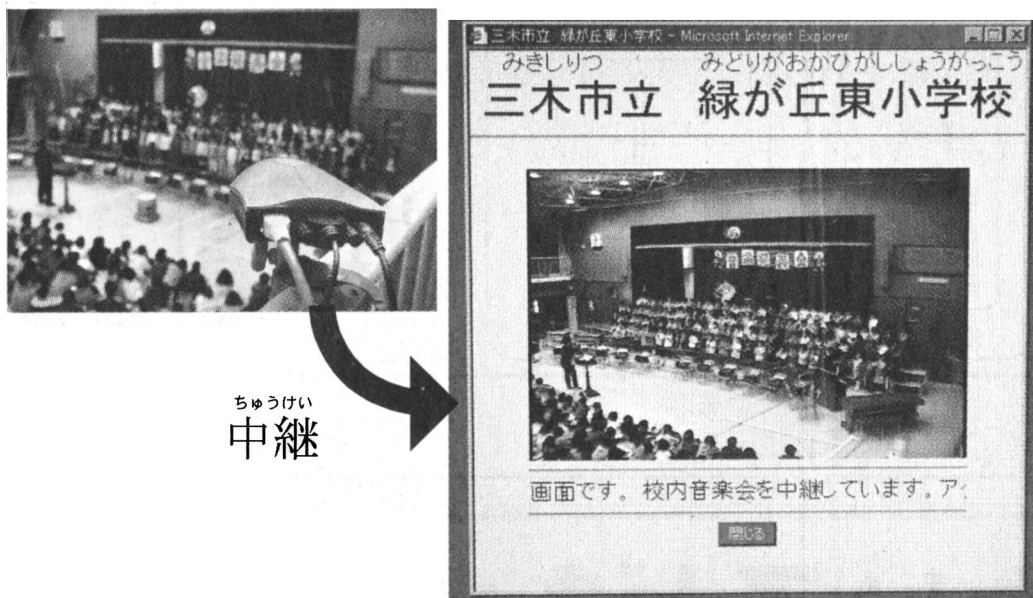
「これからやってみたい事は？」という質問には、「車いすに乗っている人がやったことがない事、できないと思われる事」と乙武さんは答えました。

「車いすの人に出会った時、僕達にできる事はありますか。」山本君の質問です。乙武さんは、「こまっっているようだったら、その人に『何かお手伝いしましょうか。』とこえをかけてほしいね。でも、例えば友達と楽しそうにしていたら、こえをかけるなくてもいいと思うよ。」と答えました。

白石さんと山本君は乙武さんから多くの事を学んだようです。

## 第二部

# インターネットで学校行事を中継



インターネットで学校行事を中継する実験が兵庫県三木市で始まりました。仕事で学校に行けない父母や、遠くはなれたおじいさん・おばあさんにも学校行事をいっしょに楽しんでもらうためです。カメラは学校に1台ずつあって、そのカメラで学校の様子をとります。そして、それが市のホームページで公開されるのです。

11月には音楽会が中継されました。カメラは会場となった体育館の2階にセットされました。開会と同時に、ホームページには体育館の様子が映し出され、『秋の歌』を歌うこえが聞こえてきました。たて、よこ、10センチぐらいの小さい画面ですが、生徒達のこえや会場のふんいきがはっきりと伝わりました。

また、カメラを教室に動かすこともできます。国語や数学の授業から、朝会、そうじの様子など、学校のいろいろな場面をしょうかいすることができます。

中村君は「遠くに住んでいる祖父母にも、前もって中継のことを知らせた。僕達のがんばっている様子が見てもらえるのでうれしい。次は卒業式を中継してもらえたらいい。」と話していました。校長先生は「たくさんの人に学校の事を知ってもらえればいい。」と、他の行事の中継も考えていくそうです。